

大学等名	和洋女子大学
プログラム名	デジタル・データサイエンス教育プログラム

プログラムを構成する授業科目について

- ① 対象となる学部・学科名称 ② 教育プログラムの修了要件 学部・学科によって、修了要件は相違しない

③ 修了要件

共通総合科目「パソコンの基礎と応用」2単位を必須科目とし、これに加えて、共通総合科目「数理と発想」及び専門教育科目から1単位以上、合計3単位以上を取得すること。
 共通総合科目(必須科目):「パソコンの基礎と応用」
 共通総合科目:「数理と発想」
 専門教育科目:「日本語学特殊演習Ⅰ」、「心理学統計法」、「観光文化と分析」、「栄養情報処理実習」、「保健統計学」、「保健医療情報学」

必要最低単位数 3 単位 履修必須の有無 令和7年度までに履修必須とする計画

④ 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-1	1-6	授業科目	単位数	必須	1-1	1-6
パソコンの基礎と応用	2	○	○	○					
数理と発想	2			○					
日本語学特殊演習Ⅰ	2			○					
観光文化と分析	2			○					
保健医療情報学	2			○					

⑤「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-2	1-3	授業科目	単位数	必須	1-2	1-3
パソコンの基礎と応用	2	○	○	○					
数理と発想	2		○	○					
日本語学特殊演習Ⅰ	2		○	○					
観光文化と分析	2		○						
保健医療情報学	2		○						

⑥「様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-4	1-5	授業科目	単位数	必須	1-4	1-5
パソコンの基礎と応用	2	○	○	○					
数理と発想	2			○					
日本語学特殊演習Ⅰ	2			○					
心理学統計法	2			○					
観光文化と分析	2		○						
保健医療情報学	2			○					

⑦「活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	3-1	3-2	授業科目	単位数	必須	3-1	3-2
パソコンの基礎と応用	2	○	○	○					
観光文化と分析	2		○						
保健医療情報学	2		○	○					

- ⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
パソコンの基礎と応用	2	○	○	○	○						
数理と発想	2		○	○							
日本語学特殊演習Ⅰ	2				○						
心理学統計法	2		○	○							
観光文化と分析	2		○								
栄養情報処理実習	1			○	○						
保健統計学	1			○	○						

- ⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

- ⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素		講義内容
(1)現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	今日の社会におけるコンピュータ: Society5.0、第4次産業革命におけるIT機器の位置づけ、コンピュータの基本機能を学ぶ(「パソコンの基礎と応用」第2回)
	1-6	ガイダンスとパソコンの基礎: AIの最新技術の活用例を挙げ、社会に急速に浸透しつつあるデータサイエンスおよびAIがどのようなものかを解説し、授業内容の説明をする。パソコンの利用方法を習得する(「パソコンの基礎と応用」第1回) ビッグデータとデータサイエンス: データの種類、データ・AIの活用領域の広がりを確認する、膨大なデータを作成する、データの比較、読み解く計算科学の新しい手法を紹介する。データ・AIの活用領域の広がりを知る(「数理と発想」第14回) 機械学習とAI: 知識発見、機械学習(探索的データ解析、データ解析と推論)という発想、その産物である人工知能(AI)といったAIの最新技術の活用を知る(「数理と発想」第15回) 研究データの収集: 様々な研究対象、研究方法と適したデータ収集方法等のAIの最新技術の活用の解説(「日本語学特殊演習Ⅰ」第2回) 電子テキストの作成: 電子テキストデータの作成方法等のAIの最新技術の活用の解説と実習(「日本語学特殊演習Ⅰ」第3回) 観光における分析の必要性: AI最新技術の活用例を基この授業で何を学ぶか。なぜそれが必要か(「観光文化と分析」第1回) 観光関連のデータを見る: AI等を活用した新しいビジネスモデルを参考に観光に関するデータの実例を通じて適切な使用方法(ELSI等)を学ぶ(「観光文化と分析」第2～4回) 医療情報システムの現状: 電子カルテに入力する1次データと検査結果等の画像データ(非構造化データ)を扱っている電子カルテシステム、オーダーリングシステム等の医療におけるAIの最新技術の活用の概要(「保健医療情報学」第8回)
(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	データサイエンス基礎: データサイエンスの発想とデータのオープン化の有用性、データサイエンスのサイクルを知る。データの集計等データを扱うことを実践する。(「パソコンの基礎と応用」第14回) ビッグデータとデータサイエンス: データの種類、データ・AIの活用領域の広がりを確認する、膨大なデータを作成する、データの比較、読み解く計算科学の新しい手法を紹介する。データ・AIの活用領域の広がりを知る。(「数理と発想」第14回) 電子テキストの作成: 電子テキストデータの作成方法等のAIの最新技術の活用の解説と実習(「日本語学特殊演習Ⅰ」第3回) 観光関連のデータを見る: AI等を活用した新しいビジネスモデルを参考に観光に関する調査データや実験データ等の実例を通じて適切な使用方法(ELSI等)を学ぶ(「観光文化と分析」第2～4回) 医療情報システムの現状: 電子カルテに入力する1次データと検査結果等の画像データ(非構造化データ)を扱っている電子カルテシステム、オーダーリングシステム等の医療におけるAIの最新技術の活用の概要(「保健医療情報学」第8回)
	1-3	AI 基礎: データ・AI活用領域の広がりなどAI とはそもそもどのようなものか基本を理解する(「パソコンの基礎と応用」第15回) コンピュータシミュレーション: コンピュータを利用したシミュレーションの基礎と最先端を知る、データ・AIの活用領域の広がりを知る。(「数理と発想」第13回) ビッグデータとデータサイエンス: データの種類、データ・AIの活用領域の広がりを確認する、膨大なデータを作成する、データの比較、読み解く計算科学の新しい手法を紹介する。データ・AIの活用領域の広がりを知る。(「数理と発想」第14回) 機械学習とAI: 知識発見・機械学習(探索的データ解析、データ解析と推論)という発想、その産物である人工知能(AI)といったAIの最新技術の活用を知る(「数理と発想」第15回) データの分析(3): 仮設検証、計画策定等データマイニングについての解説と実習(「日本語学特殊演習Ⅰ」第8回)

(3) 様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域（流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等）の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	Excel の基礎：絶対参照・相対参照を修得する、データを基にしたグラフ種選択と作成などデータの可視化を修得する（「パソコンの基礎と応用」第9～10回） Excel の応用：VBA を使ってデータ解析でプログラミングを経験する（「パソコンの基礎と応用」第13回） データ分析の方法：基本統計量、データフィルタ、エクセルでの計算・分析、回帰分析のデータ解析を学ぶ（「観光文化と分析」第8～10回）
	1-5	データサイエンス基礎：データサイエンスの発想とデータのオープン化の有用性、データサイエンスのサイクルを知る。データの集計等データを扱うことを実践する（「パソコンの基礎と応用」第14回） 機械学習とAI：知識発見・機械学習（探索的データ解析、データ解析と推論）という発想、その産物である人工知能（AI）といったAIの最新技術の活用を知る（「数理と発想」第15回） 収集データの集計・分析の解説と実習、計量・統計手法に基づくデータ分析の解説と実習、データマイニングについての解説と実習、AI利活用事例の紹介（「日本語学特殊演習Ⅰ」第6～15回） 心理測定的一般理論：恒常法、調整法、極限法などの一般的な心理測定法について。AI利活用事例の紹介（「心理学統計法」第2回） 数値の理解の仕方：諸種のグラフとその使い方について、データサイエンスのサイクルを学ぶ（「心理学統計法」第3回） 将来動向：ディープラーニング等、最新のAI技術とその先にあるもの、AI利活用事例の紹介（「保健医療情報学」第13回）
(4) 活用に当たった様々な留意事項（ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等）を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	安全なネットの利用：WebやSNSでの、セキュリティ、マナー、ルール等AI社会原則について学ぶ（「パソコンの基礎と応用」第4回） 観光関連のデータを見る：AI等を活用した新しいビジネスモデルを参考に観光に関する調査データや実験データ等の事例を通じて適切な使用方法（ELSI等）を学ぶ（「観光文化と分析」第2～4回） セキュリティと管理：システムのセキュリティ対策と情報を守る管理手段等データ倫理について学ぶ（「保健医療情報学」第9回）
	3-2	安全なネットの利用：WebやSNSでの、セキュリティ、マナー、ルール等AI社会原則について学ぶ（「パソコンの基礎と応用」第4回） セキュリティと管理：システムのセキュリティ対策と情報を守る管理手段等データ倫理について学ぶ（「保健医療情報学」第9回）
(5) 実データ・実課題（学術データ等を含む）を用いた演習など、社会での事例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	Excel の基礎3：データを基にしたデータ表現やグラフ種選択と作成を修得する（「パソコンの基礎と応用」第10回） ビッグデータとデータサイエンス：データの種類、データ・AIの活用領域の広がりを確認する、膨大なデータを作成する、データの比較、読み解く計算科学の新しい手法を紹介する。データ・AIの活用領域の広がりを知る。（「数理と発想」第14回） 統計学の知識：平均値、分散、分布の形などの読み方、気を付け方、定義の重要性、読み取り方の注意点、二変量の分析の基礎・注意点（「観光文化と分析」第5～7回） 正規分布とその性質を使って：標準正規分布の特徴と偏差値などの応用方法（「心理学統計法」第7回） 連関と相関をめぐって：諸種の相関係数とその考え方および因果律について（「心理学統計法」第8回）
	2-2	Excelの基礎3：データ表現やデータを基にしたグラフ種選択と作成を修得する（「パソコンの基礎と応用」第10回） ビッグデータとデータサイエンス：データの種類、データ・AIの活用領域の広がりを確認する、膨大なデータを作成する、データの比較、読み解く計算科学の新しい手法を紹介する。データ・AIの活用領域の広がりを知る（「数理と発想」第14回） 代表値、散布度、統計量一数による基本的な表現方法－：基本的な統計量を求め、その意味づけと利用の仕方、データの表現を学ぶ（「心理学統計法」第6回） 正規分布とその性質を使って：標準正規分布の特徴と偏差値などの応用方法、データの図表表現（「心理学統計法」第7回） 正規分布とt分布について：データの比較、区間推定の考え方－神様しか知らない数字に近づく方法－（「心理学統計法」第9回） 統計的検定の考え方：データの比較、背理法による仮説検定のロジックと検定力について（「心理学統計法」第10回） 平均の差の検定1：データの比較、t分布を用いた検定法の理論を学ぶ（「心理学統計法」第11回） 基礎統計（数量データと質的データ）：データの種類に合わせた集計をし、データ表現（表にまとめる）をする（「栄養情報処理実習」第2～3回） 記述統計とは：1変数の記述統計、代表値、散布度、歪度、尖度、グラフ等データ表現をする（「保健統計学」第5回） 推測統計の基本：確率論、推測の仕組み、正規分布、標本分布、P値と信頼区間についてデータの図表表現や比較をする（「保健統計学」第6回）

(5)実データ・実課題 (学術データ等を含む) を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用方法に関するもの	2-3	Excel の応用1:IF 関数を使用して、データの集計や並び替えをし、条件判断を修得する(「パソコンの基礎と応用」第11回) Excel の応用2:データの並び替えやランキングをCOUNTIF、RANK関数を使ってデータ操作を学ぶ(「パソコンの基礎と応用」第12回) データサイエンス基礎:データサイエンスの発想とデータのオープン化の有用性、データサイエンスのサイクルを知る。データの集計等データを扱うことを実践する(「パソコンの基礎と応用」第14回) データの分析:収集データの集計・分析の解説と実習、計量・統計手法に基づくデータ分析の解説と実習、データマイニングについての解説と実習(「日本語学特殊演習Ⅰ」第6～8回) 基礎統計③(t検定):2群の平均値の比較について理解し、対応のある/対応のないt検定を実践し、データの集計をする(「栄養情報処理実習」第4回) 基礎統計:クロス集計を行い、表にまとめる、χ^2 乗検定を実践し、データの集計をする(「栄養情報処理実習」第4～6回) 2変数の記述統計:量的2変数の相関、相関係数、順位相関係数、量的2変数の回帰直線、回帰係数、予測と誤差と切片の集計と解析のデータを扱う(「保健統計学」第7～8回) 推測統計の手法:t検定(データ集計)を行う(「保健統計学」第9回) 2変数の記述統計:質的2変数の関連、クロス集計、関連係数、χ^2 2値(「保健統計学」第10回) 多変量解析:重回帰分析、適合度検定、ロジスティック回帰分析、生存時間分析、因子分析の集計、並び替え、分析のデータを扱う(「保健統計学」第11～13回) 調査のための統計学:無作為抽出と無作為割付、標本数算のデータ集計を行う(「保健統計学」第14回)
--	------------	---

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

- ・「第4次産業革命」「Society5.0」「データ駆動型社会」などと呼ばれるこれからの時代において求められるデータサイエンスに関する基礎的な知識の習得
- ・情報・データ・リテラシー、つまり情報やデータを活用する際の留意事項の理解
- ・データの集計、分析、統計解析、およびデータの可視化方法と活用力
- ・AIに関する基礎的な知識の習得
- ・AIやデータサイエンスが社会や生活とどのようにかかわっているのかについての理解

①プログラム開設年度 令和4 年度

[illegible]

大学等名 和洋女子大学

教育の質・履修者数を向上させるための体制・計画について

① 全学の教員数 (常勤) 134 人 (非常勤) 171 人

② プログラムの授業を教えている教員数 6 人

③ プログラムの運営責任者

(責任者名) 金丸 裕志

(役職名) 副学長

④ プログラムを改善・進化させるための体制(委員会・組織等)

全学教育センター デジタル化推進プロジェクトチーム(DXPT)

(責任者名) 金丸 裕志

(役職名) 副学長

⑤ プログラムを改善・進化させるための体制を定める規則名称

和洋女子大学全学教育センター規程

⑥ 体制の目的

全学教育センターは、本学における教育の活性化に資するため、特に、学科を越えて広く学生の受講する授業等の企画・運営に関する業務を担当・支援することを目的とし、全学部・学科の共通総合科目の管理と運営を担う組織である。
本プログラムは学部・学科を超えた全学的な教育プログラムであるため、企画運営及び改善・進化させる推進母体を全学教育センターとし、その下で、このプログラムを当初より企画してきたデジタル化推進プロジェクトチーム(以降「DXPT」とする)が実際の企画運営を行う。このDXPTは、副学長が学部・学科、教員・職員を超えてメンバーを募り、全学横断的・教職協働的なプロジェクトチームとしてデジタル教育の推進に向けて活動を行ってきた。ただし、DXPTはもともと時限的に組織されたアド・ホックなチームでもあるため、今回の教育プログラムの実施や改善のために、上記の全学教育センターの下に位置付けたものである。

⑦ 具体的な構成員

副学長 教授 金丸裕志
人文学部長 教授 小澤京子
全学教育センター 教授 鬘谷要
人文学部心理学科長 教授 池田幸恭
看護学部看護学科 教授 豊川智之
教務課 課長 谷口圭子
教育支援課 課長 茂木裕信
進路支援センター事務室 室長 野澤和世
教務課 安達恵

⑧ 履修者数・履修率の向上に向けた計画 ※様式1の「履修必須の有無」で「計画がある」としている場合は詳細について記載すること

令和4年度実績	18%	令和5年度予定	30%	令和6年度予定	60%
令和7年度予定	100%	令和8年度予定	100%	収容定員(名)	3,000
具体的な計画					
本プログラムの履修者数及び履修率を向上させるため、学内広報で広く呼び掛けるとともに、学部・学科長から各学部・学科の学生に呼びかけ及びプログラム内容について情報提供を行う。その際には、本プログラムが専門分野での学びや卒業後の進路にとって有意義であるという旨を強調する。実際の授業においてもプログラムの内容の含んでおり、当該科目を修得することにより本プログラムの修了認定が得られることを通知する。要件を満たしてプログラムを修了した学生には、本プログラムの修了証を発行する。 また、MDASH認定が得られた際には、修了証に同プログラムがMDASH認定を受けている旨を明記し、就職活動等、卒業後の進路選択にもメリットがあることを伝え、さらなる履修者数・履修率の向上が見込まれる。					

⑨ 学部・学科に関係なく希望する学生全員が受講可能となるような必要な体制・取組等

全学生が受講可能である共通総合科目を本プログラムの必須科目(「パソコンの基礎と応用」)として設置しており、選択科目にも共通総合科目から1科目及び各学科の専門教育科目から6科目設置することで、各学部・学科の学生が履修・修了することが可能となっている。なお、本プログラムの選択科目が専門教育科目として設置されていない学科もあるが、該当の専門教育科目を「関連科目」として配置し、他学科生が履修できるように幅を広げることで、より履修機会を増やしていく等の改善が今後見込まれる。 共通総合科目「パソコンの基礎と応用」は、毎年複数の担当教員により複数クラスが開講されているが、昨今の学生のICT需要(履修希望者の増加)により、必ずしも希望するクラスが履修できるとは限らない点が、問題として残されている。しかしこの点は令和5年度より、デジタル・情報教育担当の専門的な教員が採用されているため、MDASH認定のモデルカリキュラムを意識した授業内容の構成としていくことで早晩解消され则认为している。
--

⑩ できる限り多くの学生が履修できるような具体的な周知方法・取組

必須科目である「パソコンの基礎と応用」はこれまでも多くの学生が1年次に履修しているが、1年次に履修しなかった・できなかった学生も2年次以降に履修を促すことで全学生が卒業までに履修するように働きかけていく。そのうえで、各専門分野の学びに即したデータサイエンスなどに発展していくように、各学科で設置された専門科目で本プログラムの選択科目の履修を促し、各学科での専門教育に合わせてスムーズに本プログラムを修了できるように指導していく。 また、そのように制度やしきみを整備したうえで、学内広報すなわち大学のウェブサイトや掲示などで広く呼び掛けるとともに、各学部・学科長で所属学生に対してプログラム登録の呼びかけやプログラム内容についての情報提供を行う。その際には、本プログラムが専門分野での学びや卒業後の進路にとって有意義であるという旨を強調し、学生にとっても有意義である点をしっかりと伝える。

⑪ できる限り多くの学生が履修・修得できるようなサポート体制

令和4年度においては「パソコンの基礎と応用」の講義内容でMDASH認定のモデルカリキュラムに適合したのは1人の担当教員のクラスであった。令和5年度にデジタル・情報教育を担当する専任教員を全学教育センターで採用した。すでにその新任教員によって令和5年度には複数のクラスを受け持つことになっており、その結果、MDASH認定に適合した内容の授業展開が複数のクラスで可能となる予定である。また、内容に応じては、ウェブ上に用意されている様々なオンデマンド教材の利用を担当教員等からも促すことで、できる限り多くの学生が、自学自習も含めて内容を学修し習得できるようなサポートを努めていくようにしたい。

⑫ 授業時間内外で学習指導、質問を受け付ける具体的な仕組み

本学では朝日ネット社が提供するLMSを既に活用しており、本プログラムに該当する授業だけでなくすべての授業で、個別指導も含めた学生への学習指導や双方向的なやり取りが可能となっている。また、教員が週に1コマを設定して学生に広く公表している「オフィスアワー」では、その時間に教員が研究室に待機して、アポイントメントなしに学生からの来訪を受け付ける制度を長年実施してきている。

さらに、全学教育センターが中心となって運営し、教育支援課がサポートしている「ラーニングステーション」では、学生の自学自習スペースを提供するだけでなく、教員を日替わりで配置し、学生の学習相談や個別指導も実施している。また、デジタル教育も含む課外授業の提供やリメディアル講座の展開が行われており、そうした場で授業時間以外での対応も可能となっている。

大学等名

和洋女子大学

自己点検・評価について

① プログラムの自己点検・評価を行う体制（委員会・組織等）

和洋女子大学大学評議会	
（責任者名）	金丸 裕志
（役職名）	副学長

② 自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	本プログラムは、デジタル化推進プロジェクトチーム（以降「DXPT」とする）により管理される。本プログラムの改善にあたっては、その自己点検・評価が必要となるが、本学では自己点検・評価体制を構築しており、和洋女子大学大学評議会がその中心的組織となっている。本プログラムにおいても、この大学評議会が最終的な自己点検・評価の主体となるが、企画・運営の実務を担うDXPTが、教務課等からの必要な資料等の提供により、まずはこのプログラムの自己点検・評価の作業を行う。そしてそこで実施された評価を大学評議会です最終的に審査するという手順を踏むことになる。
学修成果	本学では、評価の対象として優位性を欠く少人数（10人以下）の授業を除いた、全授業において学生による授業評価アンケートを実施している。このアンケートには、各項目を点数化する評価に加え、自由記述欄も設けており、項目に該当しない部分の意見や、数値で表されない質的な評価の観点も加味されている。 また新たに、学生の学修成果を数値的に可視化するシステムを導入し、各学生の学習到達度の達成状況や、各学部・学科での学習成果の発展度合いを数値的に可視化できるようにしている。このシステムにより、本プログラムを通じた学生の学習成果の発展度合いも可視化され、計測が可能になるものと期待される。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	本学では全授業において授業評価アンケートを実施している（10名以下の少人数授業は除く）。本プログラムの構成科目についても令和4年度の授業評価アンケートが行われ、担当教員に結果が提供されている。授業評価アンケートの結果が担当教員に提供されたあと、各教員は授業評価結果に対して自己分析を行って大学に提出し、その自己評価の「所感」が全教員向けに公開されることになっていた。なお、この自己点検のやり方も昨年度から、授業支援システムを利用してオンライン上で記入し、蓄積していくという、「ティーチング・ポートフォリオ」方式に改善され、今後の本プログラムでの学生理解度把握などでも活用されていくものと期待される。
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	本プログラムの中心となる「パソコンの基礎と応用」の授業評価アンケートも、令和4年度に実施されている。この科目は学部・学科を問わず開講される全学共通科目であり、履修者数も比較的多いものの、実際のパソコンを使った授業であるため、複数のクラスを設置して複数教員が担当している。そのため、学生の専門分野等により、その関心度や履修満足度、修得度などにばらつきは見られるものの、担当教員の尽力により、おおむね良好な評価を得ている。こうした良好な授業評価は、次年度以降の学生にも波及してくることが期待されるのと同時に、プログラム修了証が発行されることでその認知度が上がり、後続く学生への推奨になると期待される。
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	本プログラムの令和4年度の履修者数は553名であった。なお、令和5年度の履修者数（5月1日現在）は、必須科目の「パソコンの基礎と応用」は75名、選択科目ではあるが共通総合科目の「数理と発想」は18名である。特に後者においては少ない人数にとどまっているが、今後、本プログラムの認知度が高まるにつれて、履修者数が増加していくことが見込まれる。

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学外からの視点	教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価 本学では、卒業生が就職した企業を招き、毎年、企業懇談会を実施してきた。この3年間は新型コロナウイルスのパンデミックにより中断してきたが、今年度は実施する方向で計画されている。 この企業懇談会はこれまでも、企業から本学卒業生の状況を聞くことができる貴重で有益な機会となっており、その場で本プログラムを紹介するとともに、今後、本プログラムの修了生が卒業した後に、その就職先での状況と本プログラムの効果を聞き取りすることができるようにすると期待される。 産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見 本学では毎年、地域連携協議会という会合を開催している。この地域連携協議会は、本学と市川市の諸団体及び市民との連携・協働を推進し、それによって市川市における経済、産業、文化等の諸活動を発展させること、ならびに本学の教育研究を充実させることを目的としている。協議会には本学から学長、副学長、学部長、事務局長等が、地域からは包括連携協定を締結している市川市および地域企業の関係者の方々に加わっていただき、毎回、地域自治体および企業との意見交換を行っている。本プログラムにおいても、その概要について紹介し、その場で、プログラム内容・手法等への意見を地域自治体および地域業から頂戴することが期待できる。
数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	本プログラムの必須科目である「パソコンの基礎と応用」は、入学学生のパソコンスキルの向上（中高での情報教育の普及）にともない、より高度な内容にシフトしてきているが、それとあわせて、基本的なスキルから習得しようとする学生に対しては「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」の理解に注力されている。また同じく本プログラム構成する共通総合科目の「数理と発想」はその科目名から敬遠されがちであるが、担当教員はできるだけ身近な話題に引き付けて、とくに数理・AIの理解に必要な微分関数やベクトル、行列などの内容を「学ぶ楽しさ」や「学ぶことの意義」を理解させるような方法で教示するような工夫がなされている。
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること	上記のように、本プログラムの中核をなす科目においてとくに「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させるような工夫がなされてはいるものの、その教授・学習内容を「わかりやすく」するために、さらなる工夫が必要である。そのために、授業評価アンケート結果の精査や、それを踏まえた自己点検そして授業改善が引き続き行われることになるであろう。もちろんそれは担当教員の自己点検にとどまるものではなく、大学評議会を中心とする大学全体としての自己点検・評価を経て、全学教育センターでの科目配置や科目内容の見直し、そしてDXPTでの検討も加えられることで、本プログラムの内容・水準を維持しつつ向上させることが期待される。

パソコンの基礎と応用

1 年 前期／後期 選択 2 単位 講義 JCCBM101

要 要

【テーマ】 PC を含む ICT を活用するために必要な知識と技術を概説する。また web セキュリティに関する注意事項、基本的なソフトウェアの使い方を詳説する。さらにプログラミング、IoT、AI、ビッグデータ、データサイエンスについて社会生活の中での利用について紹介する。

【授業概要】 まず、PC の基本操作を、Windows、Office アプリケーションを使用し、簡単な課題解決を通じて修得する。次に、現代社会において特に重要なリテラシーである Web の安全な利用については、①セキュリティ上必須な操作の修得、②具体的な犯罪例と回避策の理解、③コミュニケーション上のマナー・モラルの修得、に重点を置く。また、今日の社会に急速に浸透しつつあるデータサイエンスおよび AI について、そもそもどのようなものを解説し、知らず知らずに接している高度な情報処理技術の発想と実用例について正しく理解する。さらに、Excel VBA を使用してプログラミングについても体験する。

【到達目標】 Word、Excel を用いたレポート作成ができる。Web を利用する上でのセキュリティの知識やモラルが身についている。データサイエンスや AI、さらにプログラミングの基本を理解出来る。

【実務経験の有無】 有

【学位授与方針】 和洋女子大学を理解し、大学での学びから社会人に向けた基礎力をつける。

【授業計画】

1 回 ガイダンスとパソコンの基礎

授業内容の説明とパソコンの利用方法を習得する。

2 回 今日の社会におけるコンピュータ

Society5.0、第 4 次産業革命における IT 機器の位置づけ、コンピュータの基本機能を学ぶ。

3 回 Web 利用の基礎

ホームページの閲覧と電子メールの送受信法を学ぶ。

4 回 安全なネットの利用

Web や SNS での、セキュリティ、マナー、ルールを学ぶ。

5 回 Word の基礎 1

Microsoft Word の説明と文章の入力・保存方法を習得する。

6 回 Word の基礎 2

文字の書体設定や印刷方法、書式設定について学ぶ。

7 回 Word の基礎 3

図や表の作成と文章中への挿入方法を習得する。

8 回 Excel の基礎 1

数値の入力や設定を行い、計算式の作成方法について学ぶ。

9 回 Excel の基礎 2

絶対参照・相対参照を修得する。

10 回 Excel の基礎 3

データを基にしたグラフ種選択と作成を修得する。

11 回 Excel の応用 1

IF 関数で条件判断を修得する。

12 回 Excel の応用 2

COUNTIF、RANK 関数を使ったデータ操作を学ぶ。

13 回 Excel の応用 3

VBA を使ってプログラミングを経験する。

14 回 データサイエンス基礎

データサイエンスの発想と有用性を知る。

15 回 AI 基礎

AI とはそもそもどのようなものか基本を理解する。

【教科書名】 特に指定しない

【参考図書】 特に指定しない

【評価方法】 Word ではレポート作成 (20)、Excel では小テスト (40) を課し成績に加味する。最終課題は Word と Excel を同時に使ったレポート作成 (40) とする。

【履修について】 特になし

【事前・事後学習等】 適宜授業時に PC を使った課題を指示する。(1h)

【備考】 受講に際して、自宅でもパソコン環境(インターネットに接続され Microsoft Office が使えるもの)を整えておく必要がある。Windows、Mac は問わない。

数理と発想 —数学の世界を視点を変えて楽しむ—

1年 後期 選択 2単位 講義 JCCGM101

要 要

【テーマ】 数学的発想や思考について概観し、数学的なものの見方、考え方を知ること目標にする。合わせて数学がコンピュータと共にどのように社会生活に役立つのかを説き、数学を身近に感じてもらいたい。

【授業概要】 導入として、算数から発展した一般的な数学の問題の解法について考える。続いて、微分、積分、数列、行列、ベクトル、素数、虚数、確率論などから、数学の視点を概観する。また、コンピュータと数学の接点に着目し、行列、ベクトル、虚数などがコンピュータ上での演算ツールとして驚異的な活躍を遂げたことを説く。さらに、コンピュータシミュレーションの考え方、ビッグデータ、機械学習と AI など新しいデータサイエンスの視点を社会生活と関連付けながら紹介する。

【到達目標】 数学的思考の基本となる、微分、積分、数列、行列、ベクトル、確率論の他、いくつかの重要な公理や定理について理解する。コンピュータ上での数学の利用について、機械学習や AI など新しいデータサイエンスの視点を社会生活と関連付けて理解する。

【実務経験の有無】 有

【学位授与方針】 生活科学の基礎知識を身につけ、家政学や自然科学を理解し活用できる力をつける。

【授業計画】

1 回 本講座を受講するための心構え

本講座を受講するべきかどうかを判断するための説明を行う。

2 回 身近な問題を考える (1)

つるかめ算の解き方を多角的に考える。

3 回 身近な問題を考える (2)

算数から発展した問題の解き方を考える。

4 回 歴史的な数学の問題

四色問題やフェルマーの最終定理を紹介する。

5 回 極限と微分

極限と微分の考え方を理解し実生活との接点を考える。

6 回 微分から積分へ

微分と積分が表裏の関係にある事を知る。

7 回 定積分

積分の考え方を理解し実生活との接点を考える。

8 回 虚数と素数

役に立つ虚数と謎の多い素数について知る。

9 回 確率論

確率の考え方を理解し実生活での応用例を考える。

10 回 行列

行列と行列演算の基本を理解する。

11 回 ベクトル

現代のコンピュータにおいて極めて重要なベクトルを理解する。

12 回 数列と行列漸化式

行列漸化式を用いた将来予測問題を考える。

13 回 コンピュータシミュレーション

コンピュータを利用したシミュレーションの基礎と最先端を知る。

14 回 ビッグデータとデータサイエンス

膨大なデータを読み解く計算科学の新しい手法を紹介する。

15 回 機械学習と AI

機械学習という発想、その産物である人工知能 (AI) を知る。

【教科書名】 なし

【参考図書】 なし

【評価方法】 期末試験 (筆記) で評価する。

【履修について】 なし

【事前・事後学習等】 各回の授業で指示する。

【備考】 本格的な数学の講義では無いことを承知し、講義内容については必ず初回授業で確認して履修を決定すること。

2022 年度からは文科省の新プログラム「数理・データサイエンス・AI」を指向するため内容の一部を変更している。

日本語学特殊演習 I

3年 前期 選択 2単位 演習 JCSGH301

間淵 洋子

【テーマ】 ICT を活用した日本語研究の実践を行う。自らの興味に合わせて日本語資料を選択し、これを電子テキスト化したデータを用いて、計量的に言語データを扱う研究手法を、実践を通して指導する。

【授業概要】 受講生の興味に合わせて、調査対象・内容を設定し、調査データ(文献資料、作品、アンケート、音声データ、Web 上の言語データ等)を収集、電子テキスト化する。これを用いて、計量的に言語データを分析し、資料の特質や特定表現の使用実態を解明する。受講生の発表と議論を中心に授業を進める。

【到達目標】 日本語をデータに基づき客観的に分析できる。各種ツールを用いてテキストを計量的・統計的に分析することができる。分析結果を明確にアウトプット(発表・レポート)することができる。

【実務経験の有無】 有

【学位授与方針】 日本語の歴史や特質、現代語の様相と形成についての知識を有している。(日文)

「書」の指導者として必要な書法・書学の専門的能力と知識を有している。(書道)

関心・興味に応じて特化した分野・領域での専門的な知識と創作技能・表現力を身につけている。(文芸)

【授業計画】

1 回 ガイダンス

授業の進め方、データに基づく日本語研究の意義

2 回 研究データの収集

様々な研究対象、研究方法に適したデータ収集方法の解説

3 回 電子テキストの作成

電子テキストの作成方法の解説と実習

4 回 電子テキストの作成実践報告(1)

学生による電子テキストの作成実践報告と議論

5 回 電子テキストの作成実践報告(2)

学生による電子テキストの作成実践報告と議論

6 回 データの分析(1)

収集データの集計・分析の解説と実習

7 回 データの分析(2)

計量・統計手法に基づくデータ分析の解説と実習

8 回 データの分析(3)

データマイニングについての解説と実習

9 回 調査報告(1)

学生による研究課題の調査報告、議論

10 回 調査報告(2)

学生による研究課題の調査報告、議論

11 回 調査報告(3)

学生による研究課題の調査報告、議論

12 回 調査報告(4)

学生による研究課題の調査報告、議論

13 回 フィードバック

研究の発展に向けてのフィードバック

14 回 追加調査報告(1)

学生による追加調査とレポート展望報告、議論

15 回 追加調査報告(2)

学生による追加調査とレポート展望報告、議論

【教科書名】 なし

【参考図書】 李在鎭編(2017)『文章を科学する』ひつじ書房／伊藤雅光(2002)『計量言語学入門』大修館書店

【評価方法】 授業への積極的参加(質問・議論、リフレクションペーパー) 40 %／発表 40 %／レポート 20 %

【履修について】 特になし。PC のスキルがなくても受講可能。

【事前・事後学習等】 事前(1.5h)：指定の資料を読む、発表資料やスライドを準備する／事後(1.5h)：ツールを用いた実践を復習する

【備考】 毎時間、理解の確認を兼ねたリフレクションシート提出を課す。積極的に質問し意見を述べる。次回授業で回答しフィードバックする。ツールの操作やデータ準備・調査進捗状況は随時確認し、発表に対しコメントする。

観光文化と分析

2年 前期 必修 2単位 講義 GSSAP201

藤丸 麻紀

【テーマ】 観光関連のデータについて、インターネットで情報収集し、Google スプレッドシートやエクセルなどで分析し、読み解くための統計的知識を学ぶ。

【授業概要】 観光について分析し戦略を立てるためにデータが重要である。インターネットの情報の海の中から適切にデータを探し、日本だけでなく海外のHPからもデータを収集する方法を学ぶ。またエクセルでのデータ分析も、やり方のテクニックにとどまらず、それを読み解くための統計的知識に力を入れる。最後には独自のデータを収集し分析してレポートにまとめる。

【到達目標】 他の授業のレポートや卒業論文などでも必要となる情報収集・分析の技術を学ぶ。

【実務経験の有無】 有

【学位授与方針】 海外のどの社会・文化についても独自に調査・分析できる能力を身につけている。

【授業計画】

1 回 観光における分析の必要性

この授業で何を学ぶか。なぜそれが必要か。

2 回 観光関連のデータを見る (1)

観光に関するデータの実例を通じて適切な使用方法を学ぶ

3 回 観光関連のデータを見る (2)

観光に関するデータの実例を通じて適切な使用方法を学ぶ

4 回 観光関連のデータを見る (3)

観光に関するデータの実例を通じて適切な使用方法を学ぶ

5 回 統計学の知識 (1)

平均値、分散、分布の形などの読み方、気を付け方。

6 回 統計学の知識 (2)

定義の重要性、読み取り方の注意点

7 回 統計学の知識 (3)

二変量の分析の基礎・注意点

8 回 データ分析の方法 (1)

基本統計量、データフィルタ

9 回 データ分析の方法 (2)

エクセルでの計算・分析

10 回 データ分析の方法 (3)

回帰分析

11 回 観光分析の実践 (1)

分析テーマを考える、仮説を立てる

12 回 観光分析の実践 (2)

データを探す

13 回 観光分析の実践 (3)

データ分析を行う

14 回 観光分析の実践 (1)

回帰分析を行い、結果を読み取る

15 回 レポート作成

独自のデータを収集し、分析し、レポートにまとめる。

【教科書名】 特に指定しない。必要な場合にはプリントを配布する。

【参考図書】 特に指定しない。

【評価方法】 授業への取り組みおよび提出課題による。

【履修について】 データ分析に興味を持って取り組めること。

【事前・事後学習等】 授業以外の時間に行う課題を課す。

【備考】 iPad またはノート PC を持参すること

保健医療情報学

1 年 後期 選択 2 単位 講義 NSSNPA101

永岡 裕康

【テーマ】保健医療における情報活用について、ベースとなる考え方、情報の収集・処理技術、ツールやシステム、最新動向と将来の方向性といった様々な視点から概説する。

【授業概要】看護師にとって、情報技術は重要性を増している。本講義では、病院で採用が進んでいる医療情報システムから個人用の情報ツールまで、様々な情報機器の概要と、基礎となるコンピュータ技術について説明する。さらにそれらを扱う技術だけでなく、情報とは何か、看護現場ではどのような情報を扱うか、情報の保護と公開、看護情報に関する倫理や患者の権利等についても解説する。

【到達目標】情報の重要性と扱い方の知識を身に付けたいうえで、情報収集、処理、結論導出という流れとそれを実現するツールを知ること、看護実践につながる情報処理能力を修得する。

【実務経験の有無】有

【実務経験の内容】企業において、部門 OA 化の推進を 20 年、全社情報処理部門で全社システムの企画、導入、引用を 10 年以上行ってきた。情報処理の基礎的知識を身につけてもらったうえで、保健・医療分野への適用、将来展望等を教授し、実践可能な技術とノウハウを指導する。

【学位授与方針】専門的知識・技能を活用する力を身につけている。(専門性)

【授業計画】

1 回 保健医療情報学とは

保健医療における情報の位置づけと、本講義の対象範囲

2 回 医療における情報の種類と取り扱い

疫学情報、主観的情報、個人情報といった言葉の意味と遵守事項

3 回 情報の集め方

人とのコミュニケーションを通じた情報収集、公開情報の探し方

4 回 情報を処理する方法 (1)

図や表を使った視覚化

5 回 情報を処理する方法 (2)

様々な手法を用いた分析

6 回 コンピュータの基礎

コンピュータの基本構成とハード・ソフトの役割

7 回 情報システムの基盤

ネットワーク、データベース、Web の基礎知識

8 回 医療情報システムの現状

電子カルテシステム、オーダーリングシステム等の概要

9 回 セキュリティと管理

システムのセキュリティ対策と情報を守る管理手段

10 回 保健医療情報の看護、チーム医療への適用

看護およびチーム医療における情報の役割

11 回 保健医療情報の研究への適用

研究事例から見る、情報活用の有用性

12 回 医療情報関連機器

スマートフォンやウェアラブル機器の活用

13 回 将来動向

ディープラーニング等、最新の AI 技術とその先にあるもの

14 回 保健医療情報の学びの整理、共有

学んだ内容をプレゼ資料にまとめ、発表し、学びを共有

15 回 保健医療情報学全体まとめ

保健医療情報学全体に関する補足、質疑応答、まとめ

【教科書名】エッセンシャル看護情報学(医歯薬出版)、および講義用レジュメ等の資料を適宜配布する

【参考図書】1. 国民衛生の動向

2. e-Stat

【評価方法】適宜出題するレポートで総合的に判断する。

【履修について】特になし。

【事前・事後学習等】不定期に出題するレポートを、期限までに必ず提出すること

【キーワード】ICT / アクティブラーニング / manaba course / ディスカッション / プレゼンテーション

【備考】特になし。

心理学統計法

1 年 後期 必修 2 単位 講義 PSSEP102

高梨 一彦

【テーマ】 心理学において行われる実験や調査等で得られたデータを分析する際に求められる基本的な心理統計法の考え方やデータの処理方法を学び、心理学的なアプローチによってどのように対象の理解を作り上げていくかについての基礎を学ぶ。

【授業概要】 事実の認識についての科学哲学的な観点の理解、代表値や散布度といった基礎的な統計学を含む実際の諸種の心理統計的手法について、電卓を用いて実際に数値計算を含む演習を行いながらその基本原理を理解する。

【到達目標】 事実認識についての科学哲学的観点から始まり、基礎的な統計学を含む実際の諸種の心理統計的手法についてその基本原理を理解する。

【学位授与方針】 事実を知るためのデータを適切に収集し分析する力、人と人の関係を円滑にするコミュニケーション力、人の心の基礎を理解し人を支える力を身につけている。

【授業計画】

1 回 科学哲学から見た「事実」とは

主観と客観の意味づけと科学的な事実について講義する

2 回 心理測定的一般理論

恒常法、調整法、極限法などの一般的な心理測定法について

3 回 数値の理解の仕方ー図表による視覚的なデータの理解ー

諸種のグラフとその使い方について

4 回 教育・心理統計法の基礎について

数学的な記号の使い方ならびにその意味を復習する

5 回 4 つの尺度(名義、順序、間隔、比率)について

Stevens の提唱する 4 つの尺度について

6 回 代表値、散布度、統計量一数による基本的な表現方法ー

基本的な統計量を求め、その意味づけと利用の仕方を学ぶ

7 回 正規分布とその性質を使って

標準正規分布の特徴と偏差値などの応用方法

8 回 連関と相関をめぐって

諸種の相関係数とその考え方および因果律について

9 回 正規分布と t 分布について

区間推定の考え方ー神様しか知らない数字に近づく方法ー

10 回 統計的検定の考え方ー犯人探しのロジックー

背理法による仮説検定のロジックと検定力について

11 回 平均の差の検定 1

t 分布を用いた検定法の理論を学ぶ

12 回 分散の差の検定と実験計画法

実際にデータを用いて t 検定を行って理解する

13 回 まとめと試験

全体のまとめと試験

14 回 全体の振り返り 1

学んだ内容をまとめる

15 回 全体の振り返り 2

論文等を通して理解する

【教科書名】 特に指定しない。必要な場合には適宜資料を配付する。

【参考図書】 David Howell, 2012, Statistical Methods for Psychology (8th revised ed). Wadsworth Publishing Company.

【評価方法】 試験による。

【履修について】 基本的な四則演算について復習しておくこと。

【事前・事後学習等】 数学の教科書があれば、手元に置き、ギリシャ文字の読み方や Σ (シグマ) を用いた計算等を復習すること。

【備考】 電卓等計算機(関数電卓でもよい)を用意し、使えるようにしておくこと。またグラフ用紙等も用意しておくこと。

栄養情報処理実習

1 年 後期 必修 1 単位 実習 HNSBM102

吉田 真知子

【テーマ】演習を通して、食品成分表を活用した栄養価計算の方法、コンピュータを利用した栄養学(主に食生活や健康)に関するデータ解析の方法について解説する。

【授業概要】コンピュータを用いて、データ(栄養情報)の扱い方や処理方法、集計・解析方法、表の作成について実習する。データはあらかじめ配布し、共通したものを個々で使用する。食品成分表などのデータベースを活用した栄養計算の方法を学ぶ。より実践的な内容で授業を進める。

【到達目標】栄養情報の収集や処理の仕方や、まとめ方(表作成)、データを客観的に比較・検討するための知識と技術を身につける。食品成分表の内容、栄養価計算方法の基礎を理解する。

【学位授与方針】栄養士・管理栄養士に必要な基礎的な理論と技術を有している。

【授業計画】

1 回 授業内容の説明

授業方式、事前学習、成績評価方法などの説明

2 回 基礎統計①(数量データと質的データ)

データの種類に合わせた集計をし、表にまとめる

3 回 基礎統計②

データの種類に合わせたデータをかけ合わせた集計を行い、表にまとめる

4 回 基礎統計③(t 検定)

2 群の平均値の比較について理解し、対応のある/対応のない t 検定を実践する

5 回 基礎統計④(クロス集計)

クロス集計を行い、表にまとめる

6 回 基礎統計⑤(χ^2 二乗検定)

χ^2 二乗検定を実践する

7 回 基礎統計⑥(まとめ 1)

基礎集計について総括する

8 回 基礎集計⑦(まとめ 2)

基礎集計について総括する(テスト)

9 回 食品成分表の使い方①

食品成分表の見方について

10 回 食品成分表の使い方②

食品成分表を使って食品の栄養価計算を実践する

11 回 食品成分表の使い方③

食品成分表を使って食品、料理の栄養価計算を実践する

12 回 食品成分表の使い方④

食品成分表を使って料理の栄養価計算を実践する

13 回 食品成分表の使い方⑤

食品成分表を使って料理の栄養価計算を実践する

14 回 食品成分表の使い方⑥

食品成分表を使った栄養価計算についてまとめる(テスト)

15 回 授業のまとめ

授業テーマに沿って総括し、学びの達成度を確認する

【教科書名】公衆栄養学実習(第一出版)、食品成分表(女子栄養大学出版社の最新版)、その他、適宜データ配信およびプリントを配布する。

【参考図書】栄養情報処理論(講談社サイエンティフィック)、医療系のためのやさしい統計学入門(診断と治療社)

【評価方法】毎週、事後課題(0.5～1 時間程度)あり。提出物、実習態度、技術の習得度を図るための実技試験(実習時間内に実施)の結果などの総合評価とする。提出物および実習態度で 3 割、実技試験で 7 割。

【履修について】なし。

【事前・事後学習等】統計情報処理実習で学習したエクセルの基本的操作、エクセル関数について事前に十分に復習しておくこと。

【キーワード】ICT/manaba course/プレゼンテーション

【備考】使いやすい電卓(数字入力しやすい)を使用する。

保健統計学
3年 前期 必修 1単位 講義 NSSGM301
豊川 智之

【テーマ】 統計学の基礎を学びながら、保健・医療分野における応用例、実践例を理解する。統計処理の理論を理解し、実践する。

【授業概要】 集団を対象とした健康問題を検討するに際して、複雑に絡み合った要因を分析し、健康水準を高める方策を探るための方法について学習する。看護の実践における統計学の意義とその数値処理の方法を学ぶ。

【到達目標】 1 健康や疾病に関する統計を取る意味を理解する。

2 統計学の考え方と基本的な分析技術を習得する。

3 保健統計、人口統計の種類と評価法を理解する。

【学位授与方針】 専門的知識・技能を活用する力を身につけている。(専門性)

【授業計画】

1 回 保健統計学とは、人口統計学の基本、人口静態統計

統計学の歴史、国勢調査、人口ピラミッド、人口予測

2 回 人口動態統計

出生、死亡、死産、婚姻、離婚、再生産率

3 回 保健統計 1

生命表、平均余命、平均寿命、健康寿命、基幹統計

4 回 統計学の基礎、質的・量的データ

基本用語と尺度水準、記述統計と推測統計の区別

5 回 記述統計とは

1 変数の記述統計、代表値、散布度、歪度、尖度、グラフ

6 回 推測統計の基本

確率論、推測の仕組み、正規分布、標本分布、P 値と信頼区間

7 回 2 変数の記述統計 1

量的 2 変数の相関、相関係数、順位相関係数

8 回 2 変数の記述統計 2

量的 2 変数の回帰直線、回帰係数、予測と誤差と切片

9 回 推測統計の手法

t 検定

10 回 2 変数の記述統計 1

質的 2 変数の関連、クロス集計、関連係数、 χ^2 値

11 回 多変量解析 1

重回帰分析、適合度検定

12 回 多変量解析 2

ロジスティック回帰分析

13 回 多変量解析 3

生存時間分析、因子分析

14 回 調査のための統計学

無作為抽出と無作為割付、標本数算出

15 回 まとめ

第 1 ～ 14 回のまとめ

【教科書名】 看護学生のための疫学・保健統計(浅野嘉延 著)南山堂

【参考図書】 講義内で適宜紹介する。

【評価方法】 課題レポートと小テストによる評価

【履修について】 特になし

【事前・事後学習等】 事前に配布された資料があればそれに目を通すこと、事後には講義内容のまとめノートを作成すること。

【備考】 特になし

2022履修ガイド

〔日本文学文化学科 共通総合科目〕

授 業 科 目		授業 形態	修得単位数 (○印必修)				備 考	ナンバ リング
			1 年	2 年	3 年	4 年		
共 通 総 合 科 目	和洋 アビ リ ティ ズ 科 目	キャリアデザイン	演習	2				BA1 01
		基礎ゼミ	演習	②				BA0 02
		パソコンの基礎と応用	講義		2			BM1 01
		ベーシックラーニング	演習		2			BA0 01
	和洋アビリティーズ科目 4 単位以上							
	A 群 (人文科学系)	哲学への誘い	講義		2			PH1 01
		日本の文学	講義		2			JL1 01
		外国の文学	講義		2			LV1 01
		ジェンダーと文学	講義		2			LV1 02
		表現と創作	講義		2			LV1 03
		こんにちの文化	講義		2			LV1 04
		歴史学	講義		2			GH1 01
		日本の美術	講義		2			AY1 01
		西洋の美術	講義		2			AY1 02
		音楽の歴史	講義		2			MU1 01
		音楽の楽しみ	講義		2			MU1 02
		手書き文字の世界	演習		2			OT1 01
		漢字・かな文字の変遷	演習		2			OT1 02
	A群 (人文科学系) 4 単位以上							
	B 群 (社会科学系)	日本国憲法	講義		2			BW1 01
		憲法と人権	講義		2			BW1 02
		国際関係入門	講義		2			IT1 01
		経済の仕組み	講義		2			ED1 01
		社会の仕組み	講義		2			SC1 01
		20世紀の日本	講義		2			SC1 02
		家族と社会	講義		2			SC1 03
		家族と福祉	講義		2			SW1 01
	B群 (社会科学系) 4 単位以上							
	C 群 (生活科学系)	服装の科学	講義		2			CC1 01
		ファッションの文化	講義		2			HF1 01
		色彩の科学	講義		2			GL1 01
		健康と食生活	講義		2			FN1 01
		住まいとデザイン	講義		2			IN1 01
		社会福祉の展望	講義		2			SW1 02
		加齢と高齢者の科学	講義		2			OX1 01
		こどもと育児	講義		2			LS1 01
		化学	講義		2			AC1 01
		数理と発想	講義		2			GM1 01
		看護の知識	講義		2			NUA1 01
	C群 (生活科学系) 4 単位以上							

〔日本文学文化学科 共通総合科目〕

授 業 科 目			授業 形態	修得単位数(○印必修)				備 考	ナンバ リング
				1 年	2 年	3 年	4 年		
共 通 総 合 科 目	基礎教養科目	D群(人間科学系)	社会貢献と実践	講義	2				AU1 01
			心理の科学	講義	2				SL1 01
			家族とジェンダー	講義	2				GE1 01
			人間の発達	講義	2				EP1 01
			生命の科学	講義	2				AG1 01
			現代の教育	講義	2				E01 01
			文化遺産に学ぶ	講義	2				CF1 01
			生命と医療の倫理	講義	2				GL1 02
			女性と美容	講義	2				LC1 01
			健康の科学	講義	2				AS1 01
			スポーツ実習	実技	1				PE1 01
			フィットネス実習	実技	1				PE1 02
	D群(人間科学系) 4 単位以上								
	基礎教養科目 16単位以上								
	海外研修科目	海外語学研修	演習	2		}	履修任意	FE9 01	
		海外文化研修	演習	2				FE9 02	
	海外研修科目(履修任意)								
	外国語科目	英語 a - I	演習	①					FE1 01
		英語 a - II	演習	①					FE1 02
		英語 b - I	演習	①					FE1 03
		英語 b - II	演習	①					FE1 04
		日本語 a - I	演習	1		}	外国人留学生対象 4 単位必修	JA1 01	
		日本語 a - II	演習	1				JA1 02	
		日本語 b - I	演習	1				JA1 03	
		日本語 b - II	演習	1				JA1 04	
	外国語科目 4 単位				外国人留学生は 8 単位				
共通総合科目 26単位以上									

表の見方

		修得単位数 (○印必修)			
		1 年	2 年	3 年	4 年
1年生で修得することが望ましいが、1年生以上でも修得できる、選択科目	2単位 ⇒	2			
1年生で修得することが望ましいが、1年生以上でも修得できる、必修科目	2単位 ⇒	②			
1～4年生の、どの学年で修得しても差し支えない、選択科目	2単位 ⇒	2			

2022履修ガイド

〔心理学科 共通総合科目〕

授 業 科 目		授業 形態	修得単位数 (○印必修)				備 考	ナンバ リング
			1 年	2 年	3 年	4 年		
共 通 綜 合 科 目	和洋 アビ リ ティ ズ 科 目	キャリアデザイン	演習	2				BA0 01
		基礎ゼミ	演習	②				BA0 02
		パソコンの基礎と応用	講義		2			BM1 01
		ベーシックラーニング	演習		2			BA0 03
	和洋アビリティーズ科目 4 単位以上							
	A 群 (人文科学系)	哲学への誘い	講義		2			PH1 01
		日本の文学	講義		2			JL1 01
		外国の文学	講義		2			LV1 01
		ジェンダーと文学	講義		2			LV1 02
		表現と創作	講義		2			LV1 03
		こんにちの文化	講義		2			LV1 04
		歴史学	講義		2			GH1 01
		日本の美術	講義		2			AY1 01
		西洋の美術	講義		2			AY1 02
		音楽の歴史	講義		2			MU1 01
		音楽の楽しみ	講義		2			OT1 01
		手書き文字の世界	演習		2			OT1 02
		漢字・かな文字の変遷	演習		2			OT1 03
	A群 (人文科学系) 4 単位以上							
	B 群 (社会科学系)	日本国憲法	講義		2			BW1 01
		憲法と人権	講義		2			BW1 02
		国際関係入門	講義		2			IT1 01
		経済の仕組み	講義		2			ED1 01
		社会の仕組み	講義		2			SC1 01
		20世紀の日本	講義		2			SC1 02
		家族と社会	講義		2			SC1 03
		家族と福祉	講義		2			SW1 01
	B群 (社会科学系) 4 単位以上							
	C 群 (生活科学系)	服装の科学	講義		2			CC1 01
		ファッションの文化	講義		2			HF1 01
		色彩の科学	講義		2			GL1 01
		健康と食生活	講義		2			FN1 01
		住まいとデザイン	講義		2			IN1 01
		社会福祉の展望	講義		2			SW1 02
		加齢と高齢者の科学	講義		2			OX1 01
		こどもと育児	講義		2			LS1 01
		化学	講義		2			AC1 01
		数理と発想	講義		2			GM1 01
		看護の知識	講義		2			NUA1 01
	C群 (生活科学系) 4 単位以上							

〔心理学科 共通総合科目〕

授 業 科 目			授業 形態	修得単位数(○印必修)				備 考	ナンバ リング
				1 年	2 年	3 年	4 年		
共 通 総 合 科 目	基礎教養科目	D群(人間科学系)	社会貢献と実践	講義	2				AU1 01
			心理の科学	講義	2				SL1 01
			家族とジェンダー	講義	2				GE1 01
			人間の発達	講義	2				EP1 01
			生命の科学	講義	2				AG1 01
			現代の教育	講義	2				E01 01
			文化遺産に学ぶ	講義	2				CF1 01
			生命と医療の倫理	講義	2				GL1 02
			女性と美容	講義	2				LC1 01
			健康の科学	講義	2				AS1 01
			スポーツ実習	実技	1				PE1 01
			フィットネス実習	実技	1				PE1 02
	D群(人間科学系) 4 単位以上								
	基礎教養科目 16単位以上								
	海外研修科目	海外語学研修	演習	2		} 履修任意			FE1 03
		海外文化研修	演習	2					FE1 04
	海外研修科目(履修任意)								
	外国語科目	英語 a - I	演習	①					FE0 01
		英語 a - II	演習	①					FE1 01
		英語 b - I	演習	①					FE0 02
		英語 b - II	演習	①					FE1 02
		日本語 a - I	演習	1		} 外国人留学生対象 4 単位必修			JA0 01
		日本語 a - II	演習	1					JA0 02
		日本語 b - I	演習	1					JA0 03
		日本語 b - II	演習	1					JA0 04
	外国語科目 4 単位			外国人留学生は 8 単位					
共通総合科目 26単位以上									

表の見方

		修得単位数 (○印必修)			
		1 年	2 年	3 年	4 年
1年生で修得することが望ましいが、1年生以上でも修得できる、選択科目	2単位 ⇒	2			
1年生で修得することが望ましいが、1年生以上でも修得できる、必修科目	2単位 ⇒	②			
1～4年生の、どの学年で修得しても差し支えない、選択科目	2単位 ⇒	2			

2022履修ガイド

【こども発達学科 共通総合科目】

【資格】◎必修、○選択

授 業 科 目		授業 形態	修得単位数(○印必修)				資 格		備 考	ナンバ リング
			1年	2年	3年	4年	幼稚園	保育士		
和洋 アビ リ ティ ズ 科 目	キャリアデザイン	演習	2							BA1 01
	基礎ゼミ	演習	②							BA1 02
	パソコンの基礎と応用	講義		2			◎	○		BM1 01
	ベーシックラーニング	演習		2						BA1 03
和洋アビリティーズ科目 4単位以上										
共 通 総 合 科 目	A群(人文科学系)	哲学への誘い	講義	2						PH1 01
		日本の文学	講義	2						JL1 01
		外国の文学	講義	2						LV1 01
		ジェンダーと文学	講義	2						LV1 02
		表現と創作	講義	2						LV1 03
		こんにちの文化	講義	2						LV1 04
		歴史学	講義	2						GH1 01
		日本の美術	講義	2						AY1 01
		西洋の美術	講義	2						AY1 02
		音楽の歴史	講義	2						MU1 01
		音楽の楽しみ	講義	2						OT1 01
		手書き文字の世界	演習	2						OT1 02
		漢字・かな文字の変遷	演習	2						OT1 03
	A群(人文科学系) 4単位以上									
	B群(社会科学系)	日本国憲法	講義	2			○	○		BW1 01
		憲法と人権	講義	2			○	○		BW1 02
		国際関係入門	講義	2						IT1 01
		経済の仕組み	講義	2						ED1 01
		社会の仕組み	講義	2						SC1 01
		20世紀の日本	講義	2						SC1 02
		家族と社会	講義	2						SC1 03
		家族と福祉	講義	2						SW1 01
	B群(社会科学系) 4単位以上									
	C群(生活科学系)	服装の科学	講義	2						CC1 01
		ファッションの文化	講義	2						HF1 01
		色彩の科学	講義	2						GL1 01
		健康と食生活	講義	2						FN1 01
		住まいとデザイン	講義	2						IN1 01
		社会福祉の展望	講義	2						SW1 02
		加齢と高齢者の科学	講義	2						OX1 01
		こどもと育児	講義	2				○		LS1 01
		化学	講義	2						AC1 01
		数理と発想	講義	2						GM1 01
		看護の知識	講義	2						NUA1 01
	C群(生活科学系) 4単位以上									

【こども発達学科 共通総合科目】

【資格】◎必修、○選択

授 業 科 目			授業形態	修得単位数(○印必修)				資 格		備 考	ナンバリング	
				1 年	2 年	3 年	4 年	幼稚園	保育士			
共通総合科目	基礎教養科目	D群(人間科学系)	社会貢献と実践	講義	2						AU1 01	
			心理の科学	講義	2						SL1 01	
			家族とジェンダー	講義	2						GE1 01	
			人間の発達	講義	2				○		EP1 01	
			生命の科学	講義	2						AG1 01	
			現代の教育	講義	2						E01 01	
			文化遺産に学ぶ	講義	2						CF1 01	
			生命と医療の倫理	講義	2						GL1 02	
			女性と美容	講義	2						LC1 01	
			健康の科学	講義	2				○	◎	AS1 01	
			スポーツ実習	実技	1				○	○	PE1 01	
			フィットネス実習	実技	1				○	○	PE1 02	
			D群(人間科学系) 4単位以上									
	基礎教養科目 16単位以上											
	海外研修科目	海外語学研修	演習	2						履修任意	FE1 01	
		海外文化研修	演習	2							FE1 02	
	海外研修科目(履修任意)											
	外国語科目	英語科目	英語 a - I	演習	①				◎	◎		FE1 03
			英語 a - II	演習	①				◎	◎		FE1 04
			英語 b - I	演習	①				◎	◎		FE1 05
			英語 b - II	演習	①				◎	◎		FE1 06
			日本語 a - I	演習	1						外国人留学生対象 4単位必修	JA1 01
			日本語 a - II	演習	1					JA1 02		
			日本語 b - I	演習	1					JA1 03		
			日本語 b - II	演習	1					JA1 04		
外国語科目 4単位 外国人留学生は 8単位												
共通総合科目 26単位以上												

IV

人文学部 こども発達学科

表の見方

修得単位数(○印必修)				
1年	2年	3年	4年	
2				⇒ 1年生で修得することが望ましいが、1年生以上でも修得できる、選択科目 2単位
②				⇒ 1年生で修得することが望ましいが、1年生以上でも修得できる、必修科目 2単位
2				⇒ 1～4年生の、どの学年で修得しても差し支えない、選択科目 2単位

2022履修ガイド

〔英語コミュニケーション学科 共通総合科目〕

授 業 科 目		授業 形態	修得単位数 (○印必修)				備 考	ナンバ リング
			1 年	2 年	3 年	4 年		
共 通 総 合 科 目	和洋 アビ リ ティ ズ 科 目	キャリアデザイン	演習	2				BA0 01
		基礎ゼミ	演習	②				BA0 02
		パソコンの基礎と応用	講義		2			BM1 01
		ベーシックラーニング	演習		2			BA0 03
	和洋アビリティーズ科目 4 単位以上							
	A 群 (人文科学系)	哲学への誘い	講義		2			PH1 01
		日本の文学	講義		2			JL1 01
		外国の文学	講義		2			LV1 01
		ジェンダーと文学	講義		2			LV1 02
		表現と創作	講義		2			LV1 03
		こんにちの文化	講義		2			LV1 04
		歴史学	講義		2			GH1 01
		日本の美術	講義		2			AY1 01
		西洋の美術	講義		2			AY1 02
		音楽の歴史	講義		2			MU1 01
		音楽の楽しみ	講義		2			OT1 01
		手書き文字の世界	演習		2			OT1 02
		漢字・かな文字の変遷	演習		2			OT1 03
	A群 (人文科学系) 4 単位以上							
	B 群 (社会科学系)	日本国憲法	講義		2			BW1 01
		憲法と人権	講義		2			BW1 02
		国際関係入門	講義		2			IT1 01
		経済の仕組み	講義		2			T01 01
		社会の仕組み	講義		2			SC1 01
		20世紀の日本	講義		2			SC1 02
		家族と社会	講義		2			SC1 03
		家族と福祉	講義		2			SW1 01
	B群 (社会科学系) 4 単位以上							
	C 群 (生活科学系)	服装の科学	講義		2			CC1 01
		ファッションの文化	講義		2			HF1 01
		色彩の科学	講義		2			G11 01
		健康と食生活	講義		2			FN1 01
		住まいとデザイン	講義		2			IN1 01
		社会福祉の展望	講義		2			SW1 02
		加齢と高齢者の科学	講義		2			OX1 01
		こどもと育児	講義		2			LS1 01
		化学	講義		2			AC1 01
		数理と発想	講義		2			GM1 01
		看護の知識	講義		2			NUA1 01
	C群 (生活科学系) 4 単位以上							

〔英語コミュニケーション学科 共通総合科目〕

授 業 科 目			授業 形態	修得単位数 (○印必修)				備 考	ナンバ リング
				1 年	2 年	3 年	4 年		
共通 総合 科目	基礎教養科目	D群 (人間科学系)	社会貢献と実践	講義	2				AU1 01
			心理の科学	講義	2				SL1 01
			家族とジェンダー	講義	2				GE1 01
			人間の発達	講義	2				EP1 01
			生命の科学	講義	2				AG1 01
			現代の教育	講義	2				E01 01
			文化遺産に学ぶ	講義	2				CF1 01
			生命と医療の倫理	講義	2				GL1 02
			女性と美容	講義	2				LC1 01
			健康の科学	講義	2				AS1 01
			スポーツ実習	実技	1				PE1 01
			フィットネス実習	実技	1				PE1 02
	D群 (人間科学系) 4 単位以上								
	基礎教養科目 16単位以上								
	海外研修科目	海外語学研修	演習	2		} 履修任意			FE9 01
		海外文化研修	演習	2					FE9 02
	海外研修科目 (履修任意)								
	外国語科目	英語 a	演習	①					FE1 01
		英語 b	演習	①					FE1 02
		日本語 a－Ⅰ	演習	1		} 外国人留学生対象 4 単位必修			JA1 01
		日本語 a－Ⅱ	演習	1					JA1 02
		日本語 b－Ⅰ	演習	1					JA1 03
		日本語 b－Ⅱ	演習	1					JA1 04
	外国語科目 2 単位			外国人留学生は 6 単位					
共通総合科目 24単位以上									

表の見方

		修得単位数 (○印必修)			
		1年	2年	3年	4年
1年生で修得することが望ましいが、1年生以上でも修得できる、選択科目	2単位 ⇒	2			
1年生で修得することが望ましいが、1年生以上でも修得できる、必修科目	2単位 ⇒	②			
1～4年生の、どの学年で修得しても差し支えない、選択科目	2単位 ⇒	2			

2022履修ガイド

〔国際学科 共通総合科目〕

授 業 科 目		授業 形態	修得単位数 (○印必修)				備 考	ナンバ リング
			1 年	2 年	3 年	4 年		
共 通 総 合 科 目	和洋 アビ リ ティ ズ 科 目	キャリアデザイン	演習	2				BA0 01
		基礎ゼミ	演習	②				BA0 02
		パソコンの基礎と応用	講義		2			BM1 01
		ベーシックラーニング	演習		2			BA0 03
	和洋アビリティーズ科目 4 単位以上							
	A 群 (人文科学系)	哲学への誘い	講義		2			PH1 01
		日本の文学	講義		2			JL1 01
		外国の文学	講義		2			LV1 01
		ジェンダーと文学	講義		2			LV1 02
		表現と創作	講義		2			LV1 03
		こんにちの文化	講義		2			LV1 04
		歴史学	講義		2			GH1 01
		日本の美術	講義		2			AY1 01
		西洋の美術	講義		2			AY1 02
		音楽の歴史	講義		2			MU1 01
		音楽の楽しみ	講義		2			OT1 01
		手書き文字の世界	演習		2			OT1 02
		漢字・かな文字の変遷	演習		2			OT1 03
	A 群 (人文科学系) 4 単位以上							
	B 群 (社会科学系)	日本国憲法	講義		2			BW1 01
		憲法と人権	講義		2			BW1 02
		国際関係入門	講義		2			IT1 01
		経済の仕組み	講義		2			T01 01
		社会の仕組み	講義		2			SC1 01
		20世紀の日本	講義		2			SC1 02
		家族と社会	講義		2			SC1 03
		家族と福祉	講義		2			SW1 01
	B 群 (社会科学系) 4 単位以上							
	C 群 (生活科学系)	服装の科学	講義		2			CC1 01
		ファッションの文化	講義		2			HF1 01
		色彩の科学	講義		2			G11 01
		健康と食生活	講義		2			FN1 01
		住まいとデザイン	講義		2			IN1 01
		社会福祉の展望	講義		2			SW1 02
		加齢と高齢者の科学	講義		2			OX1 01
		こどもと育児	講義		2			LS1 01
		化学	講義		2			AC1 01
		数理と発想	講義		2			GM1 01
		看護の知識	講義		2			NUA1 01
	C 群 (生活科学系) 4 単位以上							

〔国際学科 共通総合科目〕

授 業 科 目			授業 形態	修得単位数(○印必修)				備 考	ナンバ リング
				1 年	2 年	3 年	4 年		
共通 総合 科目	基礎教養科目	D群(人間科学系)	社会貢献と実践	講義	2				AU1 01
			心理の科学	講義	2				SL1 01
			家族とジェンダー	講義	2				GE1 01
			人間の発達	講義	2				EP1 01
			生命の科学	講義	2				AG1 01
			現代の教育	講義	2				E01 01
			文化遺産に学ぶ	講義	2				CF1 01
			生命と医療の倫理	講義	2				GL1 02
			女性と美容	講義	2				LC1 01
			健康の科学	講義	2				AS1 01
			スポーツ実習	実技	1				PE1 01
			フィットネス実習	実技	1				PE1 02
	D群(人間科学系) 4 単位以上								
	基礎教養科目 16単位以上								
	海外研修科目	海外語学研修	演習	2		} 履修任意			FE9 01
		海外文化研修	演習	2					FE9 02
	海外研修科目(履修任意)								
	外国語科目	英語 a	演習	①					FE1 01
		英語 b	演習	①					FE1 02
		日本語 a－Ⅰ	演習	1		} 外国人留学生対象 4 単位必修			JA1 01
		日本語 a－Ⅱ	演習	1					JA1 02
		日本語 b－Ⅰ	演習	1					JA1 03
		日本語 b－Ⅱ	演習	1					JA1 04
	外国語科目 2 単位			外国人留学生は 6 単位					
共通総合科目 24単位以上									

VI 国際学部 国際学科

表の見方

		修得単位数 (○印必修)			
		1年	2年	3年	4年
1年生で修得することが望ましいが、1年生以上でも修得できる、選択科目	2単位 ⇒	2			
1年生で修得することが望ましいが、1年生以上でも修得できる、必修科目	2単位 ⇒	②			
1～4年生の、どの学年で修得しても差し支えない、選択科目	2単位 ⇒		2		

2022履修ガイド

〔服飾造形学科 共通総合科目〕

授 業 科 目		授業 形態	修得単位数 (○印必修)				備 考	ナンバ リング
			1 年	2 年	3 年	4 年		
共通 総合 科目	和洋 アビ リ ティ ズ 科 目	キャリアデザイン	演習	2				BA1 01
		基礎ゼミ	演習	②				BA0 02
		パソコンの基礎と応用	講義		2			BM1 01
		ベーシックラーニング	演習		2			BA0 01
	和洋アビリティーズ科目 4 単位以上							
	A 群 (人文科学系)	哲学への誘い	講義		2			PH1 01
		日本の文学	講義		2			JL1 01
		外国の文学	講義		2			LV1 01
		ジェンダーと文学	講義		2			LV1 02
		表現と創作	講義		2			LV1 03
		こんにちの文化	講義		2			LV1 04
		歴史学	講義		2			GH1 01
		日本の美術	講義		2			AY1 01
		西洋の美術	講義		2			AY1 02
		音楽の歴史	講義		2			MU1 01
		音楽の楽しみ	講義		2			MU1 02
		手書き文字の世界	演習		2			OT1 01
		漢字・かな文字の変遷	演習		2			OT1 02
	A群 (人文科学系) 4 単位以上							
	B 群 (社会科学系)	日本国憲法	講義		2			BW1 01
		憲法と人権	講義		2			BW1 02
		国際関係入門	講義		2			IT1 01
		経済の仕組み	講義		2			ED1 01
		社会の仕組み	講義		2			SC1 01
		20世紀の日本	講義		2			SC1 02
		家族と社会	講義		2			SC1 03
		家族と福祉	講義		2			SW1 01
	B群 (社会科学系) 4 単位以上							
	C 群 (生活科学系)	服装の科学	講義		2			CC1 01
		ファッションの文化	講義		2			HF1 01
		色彩の科学	講義		2			GL1 01
		健康と食生活	講義		2			FN1 01
		住まいとデザイン	講義		2			IN1 01
		社会福祉の展望	講義		2			SW1 02
		加齢と高齢者の科学	講義		2			OX1 01
		こどもと育児	講義		2			LS1 01
		化学	講義		2			AC1 01
		数理と発想	講義		2			GM1 01
		看護の知識	講義		2			NUA1 01
	C群 (生活科学系) 4 単位以上							

〔服飾造形学科 共通総合科目〕

授 業 科 目			授業 形態	修得単位数(○印必修)				備 考	ナンバ リング
				1 年	2 年	3 年	4 年		
共 通 総 合 科 目	基礎教養科目	D群(人間科学系)	社会貢献と実践	講義	2				AU1 01
			心理の科学	講義	2				SL1 01
			家族とジェンダー	講義	2				GE1 01
			人間の発達	講義	2				EP1 01
			生命の科学	講義	2				AG1 01
			現代の教育	講義	2				E01 01
			文化遺産に学ぶ	講義	2				CF1 01
			生命と医療の倫理	講義	2				GL1 02
			女性と美容	講義	2				LC1 01
			健康の科学	講義	2				AS1 01
			スポーツ実習	実技	1				PE1 01
			フィットネス実習	実技	1				PE1 02
	D群(人間科学系) 4 単位以上								
	基礎教養科目 16単位以上								
	海外研修科目	海外語学研修	演習	2		} 履修任意			FE1 01
		海外文化研修	演習	2					FE1 02
	海外研修科目(履修任意)								
	外国語科目	英語 a - I	演習	①					FE1 03
		英語 a - II	演習	①					FE1 01
		英語 b - I	演習	①					FE1 04
		英語 b - II	演習	①					FE1 02
		日本語 a - I	演習	1		} 外国人留学生対象 4 単位必修			JA1 01
		日本語 a - II	演習	1					JA1 02
		日本語 b - I	演習	1					JA1 03
		日本語 b - II	演習	1					JA1 04
	外国語科目 4 単位				外国人留学生は 8 単位				
共通総合科目 26単位以上									

VII

家政学部 服飾造形学科

表の見方

		修得単位数 (○印必修)			
		1 年	2 年	3 年	4 年
1年生で修得することが望ましいが、1年生以上でも修得できる、選択科目	2単位 ⇒	2			
1年生で修得することが望ましいが、1年生以上でも修得できる、必修科目	2単位 ⇒	②			
1～4年生の、どの学年で修得しても差し支えない、選択科目	2単位 ⇒	2			

2022履修ガイド

〔健康栄養学科 共通総合科目〕

授 業 科 目		授業 形態	修得単位数 (○印必修)				備 考	ナンバ リング
			1 年	2 年	3 年	4 年		
共 通 総 合 科 目	和洋 アビ リ ティ ズ 科 目	キャリアデザイン	演習	2				BA0 01
		基礎ゼミ	演習	②				BA0 02
		パソコンの基礎と応用	講義		2			BM1 01
		ベーシックラーニング	演習		2			BA0 03
	和洋アビリティーズ科目 4 単位以上							
	A 群 (人文科学系)	哲学への誘い	講義		2			PH1 01
		日本の文学	講義		2			JL1 01
		外国の文学	講義		2			LV1 01
		ジェンダーと文学	講義		2			LV1 02
		表現と創作	講義		2			LV1 03
		こんにちの文化	講義		2			LV1 04
		歴史学	講義		2			GH1 01
		日本の美術	講義		2			AY1 01
		西洋の美術	講義		2			AY1 02
		音楽の歴史	講義		2			MU1 01
		音楽の楽しみ	講義		2			MU1 02
		手書き文字の世界	演習		2			OT1 01
		漢字・かな文字の変遷	演習		2			OT1 02
	A群 (人文科学系) 4 単位以上							
	B 群 (社会科学系)	日本国憲法	講義		2			BW1 01
		憲法と人権	講義		2			BW1 02
		国際関係入門	講義		2			IT1 01
		経済の仕組み	講義		2			ED1 01
		社会の仕組み	講義		2			SC1 01
		20世紀の日本	講義		2			SC1 02
		家族と社会	講義		2			SC1 03
		家族と福祉	講義		2			SW1 01
	B群 (社会科学系) 4 単位以上							
	C 群 (生活科学系)	服装の科学	講義		2			CC1 01
		ファッションの文化	講義		2			HF1 01
		色彩の科学	講義		2			GL1 01
		健康と食生活	講義		2			FN1 01
		住まいとデザイン	講義		2			IN1 01
		社会福祉の展望	講義		2			SW1 02
		加齢と高齢者の科学	講義		2			OX1 01
		こどもと育児	講義		2			LS1 01
		化学	講義		2			AC1 01
		数理と発想	講義		2			GM1 01
		看護の知識	講義		2			NUA1 01
	C群 (生活科学系) 4 単位以上							

〔健康栄養学科 共通総合科目〕

授 業 科 目			授業 形態	修得単位数(○印必修)				備 考	ナンバ リング
				1 年	2 年	3 年	4 年		
共 通 総 合 科 目	基礎教養科目	D群(人間科学系)	社会貢献と実践	講義	2				AU1 01
			心理の科学	講義	2				SL1 01
			家族とジェンダー	講義	2				GE1 01
			人間の発達	講義	2				EP1 01
			生命の科学	講義	2				AG1 01
			現代の教育	講義	2				E01 01
			文化遺産に学ぶ	講義	2				CF1 01
			生命と医療の倫理	講義	2				GL1 02
			女性と美容	講義	2				LC1 01
			健康の科学	講義	2				AS1 01
			スポーツ実習	実技	1				PE1 01
			フィットネス実習	実技	1				PE1 02
	D群(人間科学系) 4 単位以上								
	基礎教養科目 16単位以上								
	海外研修科目	海外語学研修	演習	2				履修任意	FE1 01
		海外文化研修	演習	2					FE1 02
	海外研修科目(履修任意)								
	外国語科目	英語 a - I	演習	①					FE1 03
		英語 a - II	演習	①					FE1 04
		英語 b - I	演習	①					FE1 05
		英語 b - II	演習	①					FE1 06
		日本語 a - I	演習		1			外国人留学生対象 4 単位必修	JA1 01
		日本語 a - II	演習		1				JA1 02
		日本語 b - I	演習		1				JA1 03
		日本語 b - II	演習		1				JA1 04
	外国語科目 4 単位			外国人留学生は 8 単位					
共通総合科目 26単位以上									

Ⅷ

家政学部 健康栄養学科

表の見方

		修得単位数 (○印必修)			
		1 年	2 年	3 年	4 年
1年生で修得することが望ましいが、1年生以上でも修得できる、選択科目	2単位 ⇒	2			
1年生で修得することが望ましいが、1年生以上でも修得できる、必修科目	2単位 ⇒	②			
1～4年生の、どの学年で修得しても差し支えない、選択科目	2単位 ⇒	2			

2022履修ガイド

〔家政福祉学科 共通総合科目〕

【資格】◎必修、○選択

授 業 科 目		授業形態	修得単位数(○印必修)				資 格		備 考	ナンバリング
			1年	2年	3年	4年	社会福祉士	保育士		
共通総合科目	和洋アビリティーズ科目	キャリアデザイン	演習	2						BA1 01
		基礎ゼミ	演習	②				◎		BA0 01
		パソコンの基礎と応用	講義		2					BM1 01
		ベーシックラーニング	演習		2					BA0 02
	和洋アビリティーズ科目 4単位以上									
	A群(人文科学系)	哲学への誘い	講義		2					PH1 01
		日本の文学	講義		2					JL1 01
		外国の文学	講義		2					LV1 01
		ジェンダーと文学	講義		2					LV1 02
		表現と創作	講義		2					LV1 03
		こんにちの文化	講義		2					LV1 04
		歴史学	講義		2					GH1 01
		日本の美術	講義		2					AY1 01
		西洋の美術	講義		2					AY1 02
		音楽の歴史	講義		2					MU1 01
		音楽の楽しみ	講義		2					MU1 02
		手書き文字の世界	演習		2					OT1 01
		漢字・かな文字の変遷	演習		2					OT1 02
	A群(人文科学系) 4単位以上									
	B群(社会科学系)	日本国憲法	講義		2					BW1 01
		憲法と人権	講義		2					BW1 02
		国際関係入門	講義		2					IT1 01
		経済の仕組み	講義		2					ED1 01
		社会の仕組み	講義		2					SC1 01
		20世紀の日本	講義		2					SC1 02
		家族と社会	講義		2		○			SC1 03
		家族と福祉	講義		2					SW1 01
	B群(社会科学系) 4単位以上									
	C群(生活科学系)	服装の科学	講義		2					CC1 01
		ファッションの文化	講義		2					HF1 01
		色彩の科学	講義		2					GL1 01
		健康と食生活	講義		2					FN1 01
		住まいとデザイン	講義		2					IN1 01
		社会福祉の展望	講義		2					SW1 02
		加齢と高齢者の科学	講義		2					OX1 01
		こどもと育児	講義		2					LS1 01
		化学	講義		2					AC1 01
		数理と発想	講義		2					GM1 01
		看護の知識	講義		2					NUA1 01
	C群(生活科学系) 2単位以上									

〔家政福祉学科 共通総合科目〕

【資格】◎必修、○選択

授 業 科 目			授業 形態	修得単位数(○印必修)				資 格		備 考	ナンバ リング
				1 年	2 年	3 年	4 年	社会 福祉士	保育士		
共 通 総 合 科 目	基礎教養科目	D群(人間科学系)	社会貢献と実践	講義	2						AU1 01
			心理の科学	講義	2						SL1 01
			家族とジェンダー	講義	2						GE1 01
			人間の発達	講義	2						EP1 01
			生命の科学	講義	2						AG1 01
			現代の教育	講義	2						E01 01
			文化遺産に学ぶ	講義	2						CF1 01
			生命と医療の倫理	講義	2						GL1 02
			女性と美容	講義	2						LC1 01
			健康の科学	講義	2				◎		AS1 01
			スポーツ実習	実技	1				○		PE1 01
			フィットネス実習	実技	1				○		PE1 02
	D群(人間科学系) 3単位以上										
	基礎教養科目 13単位以上										
	海外研修科目	海外語学研修	演習	2						履修任意	FE1 03
		海外文化研修	演習	2							FE1 04
	海外研修科目(履修任意)										
	外国語科目	英語 a－Ⅰ	演習	①					◎		FE1 01
		英語 a－Ⅱ	演習	①					◎		FE1 02
		英語 b－Ⅰ	演習	①					◎		FE1 05
		英語 b－Ⅱ	演習	①					◎		FE1 06
		日本語 a－Ⅰ	演習	1						外国人留学生対象 4単位必修	JA1 01
		日本語 a－Ⅱ	演習	1					JA1 02		
		日本語 b－Ⅰ	演習	1					JA1 03		
		日本語 b－Ⅱ	演習	1					JA1 04		
	外国語科目 4単位			外国人留学生は8単位							
共通総合科目 22単位以上											

IX

家政学部 家政福祉学科

表の見方

		修得単位数(○印必修)			
		1 年	2 年	3 年	4 年
1年生で修得することが望ましいが、1年生以上でも修得できる、選択科目	2単位 ⇒	2			
1年生で修得することが望ましいが、1年生以上でも修得できる、必修科目	2単位 ⇒	②			
1～4年生の、どの学年で修得しても差し支えない、選択科目	2単位 ⇒	2			

2022履修ガイド

〔看護学科 共通総合科目〕

授 業 科 目		授業 形態	修得単位数 (○印必修)				備 考	ナンバ リング
			1 年	2 年	3 年	4 年		
共 通 総 合 科 目	和洋 アビ リ ティ ズ 科 目	キャリアデザイン	演習	2				BA1 01
		基礎ゼミ	演習	②				BA0 01
		パソコンの基礎と応用	講義		2			BM1 01
		ベーシックラーニング	演習		2			BA0 02
	和洋アビリティーズ科目 4単位以上							
	A 群 (人 文 科 学 系)	哲学への誘い	講義		2			PH1 01
		日本の文学	講義		2			JL1 01
		外国の文学	講義		2			LV1 01
		ジェンダーと文学	講義		2			LV1 02
		表現と創作	講義		2			LV1 03
		こんにちの文化	講義		2			LV1 04
		歴史学	講義		2			GH1 01
		日本の美術	講義		2			AY1 01
		西洋の美術	講義		2			AY1 02
		音楽の歴史	講義		2			MU1 01
		音楽の楽しみ	講義		2			MU1 02
		手書き文字の世界	演習		2			OT1 01
		漢字・かな文字の変遷	演習		2			OT1 02
	A群(人文科学系) 4単位以上							
	B 群 (社 会 科 学 系)	日本国憲法	講義		2			BW1 01
		憲法と人権	講義		2			BW1 02
		国際関係入門	講義		2			IT1 01
		経済の仕組み	講義		2			ED1 01
		社会の仕組み	講義		2			SC1 01
		20世紀の日本	講義		2			SC1 02
		家族と社会	講義		2			SC1 03
		家族と福祉	講義		2			SW1 01
	B群(社会科学系) 2単位以上							
	C 群 (生 活 科 学 系)	服装の科学	講義		2			CC1 01
		ファッションの文化	講義		2			HF1 01
		色彩の科学	講義		2			GL1 01
		健康と食生活	講義		2			FN1 01
		住まいとデザイン	講義		2			IN1 01
		社会福祉の展望	講義		2			SW1 02
		加齢と高齢者の科学	講義		2			OX1 01
		こどもと育児	講義		2			LS1 01
		化学	講義		2			AC1 01
		数理と発想	講義		2			GM1 01
		看護の知識	講義		2			NUA1 01
	C群(生活科学系) 2単位以上							

〔看護学科 共通総合科目〕

授 業 科 目			授業 形態	修得単位数(○印必修)				備 考	ナンバ リング
				1 年	2 年	3 年	4 年		
共 通 総 合 科 目	基礎教養科目	D 群（人間科学系）	社会貢献と実践	講義	2				AU1 01
			心理の科学	講義	2				SL1 01
			家族とジェンダー	講義	2				GE1 01
			人間の発達	講義	2				EP1 01
			生命の科学	講義	2				AG1 01
			現代の教育	講義	2				E01 01
			文化遺産に学ぶ	講義	2				CF1 01
			生命と医療の倫理	講義	2				GL1 02
			女性と美容	講義	2				LC1 01
			健康の科学	講義	2				AS1 01
			スポーツ実習	実技	1				PE1 01
			フィットネス実習	実技	1				PE1 02
	D群(人間科学系) 4 単位以上								
	基礎教養科目 12単位以上								
	海外研修科目	海外語学研修	演習	2		} 履修任意			FE9 01
		海外文化研修	演習	2					FE9 02
	海外研修科目(履修任意)								
	外国語科目	英語 a－Ⅰ	演習	①					FE1 01
		英語 a－Ⅱ	演習	①					FE1 02
		英語 b－Ⅰ	演習	①					FE1 03
		英語 b－Ⅱ	演習	①					FE1 04
	外国語科目 4 単位								
共通総合科目 20単位以上									

【注】 本学では、保健師課程を履修する学生は、養護教諭二種免許も取得することとしている。したがって、日本国憲法（「日本国憲法」もしくは「憲法と人権」から2単位選択）、体育（「健康の科学」もしくは「スポーツ実習」もしくは「フィットネス実習」から2科目2単位選択）、外国語コミュニケーション（「英語a-I」「英語a-II」「英語b-I」「英語b-II」）、情報機器の操作（「パソコンの基礎と応用」）の履修が必要となる。
 なお、1 年次後期の専門教育科目「保健医療情報学」は、保健師課程の必修科目であるため別途履修すること。

表の見方

		修得単位数 (○印必修)			
		1年	2年	3年	4年
1年生で修得することが望ましいが、1年生以上でも修得できる、選択科目	2単位 ⇒	2			
1年生で修得することが望ましいが、1年生以上でも修得できる、必修科目	2単位 ⇒	②			
1～4年生の、どの学年で修得しても差し支えない、選択科目	2単位 ⇒	2			

X

看護学部
看護学科

2023 年 4 月 1 日

学生の皆さんへ

全学教育センターからのお知らせ

卒論、就活にも役立つ！

共通総合科目（和洋アビリティーズ）選択科目 植田幹男・深澤晴美・大塚千紗子・桑名杏奈先生
「ベーシックラーニング」について

★同じ科目名で内容は3種類あり、いずれか1科目を受講できます。自然科学系の内容を、植田先生が担当します（①）。人文科学系の内容を深澤先生（前期）、大塚先生（後期）が担当します（②）。情報に関する内容を桑名先生（後期）が担当します（③）。

- ① 大学の学びでは、科学的、論理的な考え方が必要です。生物・化学などの自然科学系の基礎力が必要な科目もあります。理系が苦手な学生さんにお勧めの科目です。
- ② 大学の学びでは、文章を読み、理解し、正しい日本語を使って、文章表現できる力が必要です。3年生から始まる就職活動での自己PR文の作成にも役立てることができます。
- ③ 大学の学びでは、情報を正しく理解し、適切に用いる力が必要です。この授業では、情報化社会を安全に生きる上で必要最低限の知識や情報を身につけます。

大学生活で困らない
パソコンスキルを身
につけよう！！

共通総合科目（和洋アビリティーズ）選択科目 鬘谷要・永岡裕康・桑名杏奈先生
「パソコンの基礎と応用」について

- ★共通総合科目のうち、和洋アビリティーズ科目に該当します。
- ★**前後期合わせて17クラス設定しています。**
- ★履修者多数の場合は抽選になる可能性があります。
- ★**健康栄養学科の方は受講できません。PC関連科目は専門科目で受講して下さい。**
- ★基本的にPCの基本操作について学ぶ授業ですが、鬘谷要先生のクラス（1052, 1053, 1064）では、データサイエンスとAIを取り入れます。高度に発達したAIと遊んでみたり、ビッグデータや、機械学習について紹介し、さらにExcel VBAやScratchを使って、プログラミングについて体験できます。

数学好きはもちろん、数
学の面白さが分からな
い方にもお勧めです。

共通総合科目（生活科学系科目）選択科目 鬘谷要先生
「数理と発想」について

- ★共通総合科目のうち、生活科学系科目に該当し**後期のみの開講となります**。
- ★履修者多数の場合は抽選になる可能性があります。
- ★数学が大嫌いだった方も含め皆さんは知らず知らずのうちに大変数学のお世話になっています。そもそも数学とは何かから始めて、数学の美しさ、数学の便利さについて紹介しますので、数学が何の役に立つのか分からないから嫌いだった方にお勧めです。コンピュータと数学の接点に着目し、コンピュータシミュレーションの考え方、ビックデータ、機械学習、AIなど新たな数学の視点を社会生活と関連付けながら紹介します。

2023 年 4 月 1 日

学生の皆さんへ

全学教育センターからのお知らせ

共通総合科目（和洋アビリティーズ）選択科目 奈良玲子先生
「キャリアデザイン」について

充実した大学生活を目指して！
社会人への第一歩！

- ★ 共通科目のうち、和洋アビリティーズ科目に該当します。
- ★ 前後期合わせて 8 クラス設定しています。全授業を対面で行います。
- ★ 人数制限がありますので、先ずは、履修登録を早めに行ってください。
- ★ 履修登録後に人数調整を行う場合があります。詳細は manaba でお知らせします（毎年、比較的、後期受講に余裕があります）。
- ★ 大学生生活をどの様に構築し、後の社会人としてのキャリア、一女性としてのライフコースに繋げていくのか等のテーマを掲げ、グループワーク（社会調査等）を中心に授業を展開します。

共通総合科目（和洋アビリティーズ）選択科目 奈良玲子・金子伊樹先生
「社会貢献と実践」について

社会貢献を介し様々な人々と
出会い、豊かな学生生活を！

- ★ 共通総合科目のうち、人間科学系科目に該当します。
- ★ 集中授業科目（通年授業）です。2023 年度は以下の通りに授業を実施します。
 - ・ 5 月以降、大学内で講義・演習授業を実施する予定です。
 - （主に木曜日の 6 限で講義・演習授業を行う予定ですが、受講生が確定した後で、希望開講時間を募ります）。
 - ・ 学外での見学、社会貢献活動については随時、manaba を通してお知らせします。
 - ・ 社会貢献の意義、心構え、知識、支援のプロセスを「外国籍の人々への支援」「サポートが必要な子供への支援」「障がい者スポーツを支援する人々」「更生保護を必要としている人々」等を中心に見学、実践、講演などを中心に授業を進行します。
- ★ **受講希望者はいずれかのガイダンスに必ずご参加下さい。**

4 月 6 日（木）1 年生健康診断日 12:00~12:50 東 5-2

（前後に健康診断を控えている学生の皆さんの早退、遅刻は問題ありません）。

4 月 7 日（金）17:00~17:50 東 5-2

* 両日とも同じ内容です。また、このガイダンスを受けてから、履修するか否かを決定できます。

【共通総合科目履修についての注意点】

- ① 第 1 次登録期間に、必ず履修登録をしておいて下さい。
- ② 共通総合科目は、履修希望者が多い場合、抽選になる可能性があります。
- ③ オンデマンド科目は 1 次登録×切時点で定員を超えた場合、抽選をします。
抽選にもれた学生には教育支援課から連絡をします。
- ④ 対面の授業は、第 1 回目の授業に必ず参加して下さい。
- ⑤ 抽選で受講が認められた科目は、2 次登録期間で登録の削除はできません。

○和洋女子大学全学教育センター規程

(設置)

第1条 和洋女子大学に、全学教育センターを置き、学部教授会に準ずる組織とし、必要な事項をこの規程に定める。

(目的)

第2条 全学教育センターは、本学における教育の活性化に資するため、特に、学科を越えて広く学生の受講する授業等の企画・運営に関する業務を担当・支援することを目的とする。

(審議事項及び業務)

第3条 全学教育センターは、その目的を達成するために、以下の事項について審議し、授業担当者の選定、時間割編成の調整、受講者の調整等、教育課程の円滑な実施と改善に資する他、必要な活動を行う。

- (1) 共通総合科目の企画・運営・調整等に関する事項
- (2) 教養教育に関する調査、研究、教育方法の改善に関する事項
- (3) 基礎教育の企画・運営・調整等に関する事項
- (4) 基礎教育に関する調査、研究等に関する事項
- (5) 外国語教育に関する調査、研究等に関する事項
- (6) 教職教育の企画・運営・調整等に関する事項
- (7) 司書・学校図書館司書教諭課程の企画・運営・調整等に関する事項
- (8) 博物館学芸員課程の企画・運営・調整等に関する事項
- (9) 上記(1)～(8)に係る教員の人事に関する事項

(全学教育センター長)

第4条 全学教育センターに、全学教育センター長を置く。全学教育センター長は、本学専任教員のうちから選挙によって選出するものとし、その選考及び委嘱は学部長選出規程に準ずる。

(全学教育センター教授会)

第5条 全学教育センターに、全学教育センター教授会を置く。

- 2 全学教育センター教授会は、全学教育センター長と当該センター配置の教授、准教授及び助教をもって構成する。ただし、全学教育センター教授会が必要と認めたときは、その他の者を出席することができる。

(部門)

第6条 全学教育センターに、次の部門を置く。

- (1) 外国語教育部門。

(部門代表)

第7条 部門に、部門代表を置き、当該部門教員のうちからそれぞれ1名を選任する。部門代表の任期は、1期2年とし、再任を妨げない。

(部門会議)

第8条 部門の専任教員によって、部門会議を開催する。部門会議は、部門の業務に関し必要な連絡調整に当たり、全学教育に関する必要な条件の整備について審議する。部門会議に関するその他の必要

な事項は、部門会議において定める。

(事務局)

第9条 全学教育センターに関する事務は、教育支援課が担当するほか、必要な職員を配置することができる。

(その他必要事項)

第10条 この規程に定めるもの以外の必要な事項は、全学教育センター教授会において定める。

(規程の改廃)

第11条 この規程の改廃は、和洋学園諸規程の管理規程の定めによる。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から制定施行する。

2 第7条の規定にかかわらず、平成20年4月に所員となる教員については、共通教育部門については教務委員会、外国語教育部門については外国語教育研究センター教職課程部門については教職課程運営部会、資格教育部門については免許資格取得課程部会において、所員の定数等の原案をまとめ、学部長会議を経て全学教授会において審議するものとする。

3 第6条の規定にかかわらず、平成20年4月1日に就任するセンター長については、学長が指名する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から改正施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から改正施行する。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から改正施行する。

附 則

この規程は、平成28年6月1日から改正施行する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から改正施行する。

2 第4条の規定にかかわらず、平成30年4月1日に就任するセンター長については、学長が指名する。

附 則

この規程は、2019年10月24日から改正施行する。

○和洋女子大学大学評議会規程

（設置）

第1条 和洋女子大学学則第8条の規定に基づき、本学に大学評議会（以下「本会」という。）を置く。

（目的）

第2条 本会は、大学の充実と運営の効率化を図るため、大学運営等に関する重要な以下の事項について、審議を行うとともに、必要な連絡調整を行うことを目的とする。

（1）大学の将来構想及び中期計画・目標の企画立案に関する事項

（2）教員人事に関する事項（採用に伴う手続きは別に定める）

（3）自己点検及び評価の企画・実施に関する事項

（4）FD（ファカルティ・ディベロップメント）に関する事項

（5）学長が必要と認めた事項

2 本会は、審議した事項について、必要に応じて教授会に報告しなければならない。教授会は、特に必要がある場合には、本会が審議した事項について、改めて審議し、本会に意見を述べることができる。

（構成員）

第3条 本会は、学長、副学長、学部長、部門長、図書館長、国際交流センター長、教職教育支援センター長、学術情報センター長、事務局長、事務局次長、事務局各部長をもって構成する。

2 本会が必要と認めたときは、前項の規定に関わらず、その他の教職員の出席を求め、意見を聴くことができる。

（会議）

第4条 本会は、原則として定期開催する。ほかに、学長が必要と認めたとき、又は構成員の2分の1以上の要求があったときは、学長がこれを招集する。

2 本会は大学院評議会と合同で開催することができる。

（議長）

第5条 本会の議長は、学長がこれに当たる。

2 学長に支障があるときは、学長があらかじめ指名する者がこれを代行する。

（成立要件）

第6条 本会は、委任状を含めて構成員（国内研修派遣者、海外研修派遣者、休職者、育児休業者及び介護休業者を除く。）の3分の2以上の出席をもって成立する。

（議決）

第7条 本会の議決ならびに教授会の審議結果を参酌し、学長は事項に関する方針を決定する。

（議事の公開）

第8条 本会の議事は、非公開とする。

（庶務）

第9条 本会の庶務については、庶務課が担当する。

（規程の改廃）

第 10 条 この規程の改廃は、和洋学園諸規程の管理規程の定めによる。

附 則

この規程は、平成 30 年 4 月 1 日から制定施行する。

本規程の制定により、和洋女子大学大学運営会議規程（平成 27 年 4 月 1 日制定施行）、全体協議会規程（平成 10 年 3 月 17 日制定施行）及び全体協議会運営規程（平成 10 年 3 月 17 日制定）については、平成 30 年 3 月 31 日をもって廃止する。

附 則

この規程は、2020 年 4 月 1 日から改正施行する。

附 則

この規程は、2022 年 4 月 1 日から改正施行する。

和洋女子大学デジタル・データサイエンス教育プログラム：プログラムの構成および企画実施・自己点検評価体制

